

まるせっぷクリニック便り

No. 27

令和2年10月号

JA 北海道厚生連
まるせっぷ厚生クリニック

TEL47-3131 FAX47-3134

北海道厚生連イメージキャラクター
コウセイくん



インフルエンザワクチンについて

日本で初の新型コロナウイルス感染症の患者さんが出てから9月初旬の時点で日本の感染者の累計は7万人、死亡者数は1,300人を超えました。全国的な流行は収束の兆しを見せていますが、冬季に再度流行が起きることが予想されています。インフルエンザは毎年冬に流行しますが、例年のインフルエンザ患者数は推定約1千万人とも言われており、直接、間接的にインフルエンザで亡くなる方は1万人に上ると推計されています。今年は新型コロナウイルス、インフルエンザと二つの感染症が同時に流行する可能性があり、重大な事態が起こることが危惧されています。

インフルエンザワクチンの効果はあるの？

タイプが外れても効かないことはない

インフルエンザは流行するタイプが毎年変わり、その予測のあたりはずれはあります。ですが、予測が外れてしまっても、50~60%は予防効果があったと報告されています。効果は薄れてしまいますが、それなりの効果は期待できということになります。

感染は防げないが発症を抑える

インフルエンザワクチンを接種してもウイルスが身体に入り込むことは防げません。気道にウイルスが侵入してくると、それを防御するのは粘膜免疫になります。これを突破されると身体に侵入してしまいます。インフルエンザワクチンを接種しても、一度はインフルエンザウイルスに感染してしまいます。ですが、ワクチンに効果はここから発揮され、免疫のスイッチが入りやっつけてしまいます。結果、発症を抑えることができるのです。

ワクチンによってインフルエンザにはならない

「予防接種をしたらインフルエンザにかかってしまう」という誤解をされている方もいらっしゃいます。インフルエンザは不活化ワクチンのため、感染力はまったくありません。元々免疫力が高く元気な方は接種後に熱っぽくなる方が居ますが、一晩の安静で改善します。

予防接種は毎年受けたほうが良い

インフルエンザワクチンには効果があり、接種を毎年受けた方が良いということは、厚生労働省やアメリカの疾患対策センター(CDC)で報告されています。WHO も発症や重症化を防ぐにはインフルエンザワクチンが最も効果的だと公表しています。

インフルエンザの報告患者数

年	9月第1週	第2週	合計	シーズン累計
2020	3	4	7	?
19	3813	5738	9551	729万
18	338	655	993	1210万
17	899	1081	1980	2257万
16	260	458	718	1701万
15	309	347	656	1613万

(単位人、厚生労働省まとめ)

インフルエンザの患者数が例年に比べて異例の低水準になっています。昨シーズンの1000分の1例年の100分の1ほどです。このことから、手洗い、うがい、マスクの着用の徹底など、新型コロナウイルスの感染対策の効果と考えられます。これからも感染対策はしっかりと行いましょう！

インフルエンザワクチンを接種する理由

発症の可能性が減り

かかっても重症化が防げる

インフルエンザワクチンを接種した方が発症する確率も合併症も軽減できる事は大規模な研究結果で証明されています。

合併症の可能性を下げる

過去にインフルエンザ大流行での多くの死亡原因は、細菌の二次感染による肺炎によるものであったとされています。インフルエンザは合併症に特に注意すべき疾患なのです。ワクチンは発症率を下げるだけではなく、合併症の頻度も下げます。

インフルエンザワクチンを接種すべき人とは？

高齢者

65歳以上の高齢者と60~64歳で心臓、腎臓もしくは呼吸器の機能またはヒト免疫不全ウイルスによる免疫機能障害を有する人(身体障害者手帳1級程度)は、国が接種を強く推奨する「定期接種」の対象になっています。ワクチンで強い副反応が出たことのある人以外は接種がお勧めです。

小児の親と高齢者の介護

乳幼児や高齢者、基礎疾患のある人が外出をしてインフルエンザにかかることは少ないです。どちらかという家族が持ち込む事が大半です。集団免疫の考えから、家族が予防接種を受けることで間接的に発生を防ぎます。

教員など感染を拡大させてしまう可能性がある人

医療・介護関係者は、免疫力の弱った人たちと接するため、インフルエンザワクチンの接種が推奨されています。毎年、インフルエンザは学校へ通う子供たちがかかり、そこから家族への感染ということも多いことから、子供たちと多く接する教員の方のインフルエンザワクチンの接種をお勧めします。

インフルエンザワクチンの持続期間は？

インフルエンザワクチンの効果の発現と持続期間には個人差がありますが、一般的にはインフルエンザワクチン接種後2週間目頃から5ヵ月間程度効果が持続するとされています。

インフルエンザ予防接種

予約受付開始しています！

予防接種料金 : 1回目 3,200円

2回目 2,000円

(2回目は小学生以下の方が対象です)

助成金対象 : 遠軽町の住民で接種時に

13歳未満の方、65歳以上の方は

接種1回につき1,300円助成

生活保護の方は全額助成

※予約制 受付窓口、又はお電話にてご予約下さい。

